

良き習慣が創った私の人生

社会教育家
田中 真澄 先生



新刊「良き習慣が創った私の人生」

田中真澄先生、97冊目の最新刊です。「記憶が確かな内を書いておかねば」と、ご自身の人生を通して私たちに伝えたいこと記して下さった珠玉の一冊です。

ぱるす出版 <http://www.pulse-p.co.jp>

田中先生との出会いは、39年前。「人生100年時代になる、大企業が倒産する時代が来る、大企業・組織に依存する生き方から自立へ、そのために明確な目標設定と心構えの形成、終身現役の生き方」という内容と汗だくになり、情熱的な語り口調に衝撃を受けました。また田中先生ご自身も日経新聞時代にSMIを採用されていたご縁から、一時期は福岡市・北九州市・大分・熊本と4カ所を年二回講演、その後は

毎年今頃の季節に講演を平成30年迄して頂きました。弊社の講演会から九州全域に田中先生ファンが広がったこともありですが、田中先生の講演をきっかけにSMIのクライアント様も増え続けていきました。一九八三年、アメリカで開催されたSMIワールドコンベンションにモティベーターシヨナルスピーカーの巨匠である田中真澄先生とランチェスター戦略の巨匠である竹田陽一先生とご一緒に参加。



ポールJ. マイヤーと田中先生



田中先生は、SMI創立者ポールJ. マイヤーと対談され、その後出版された「成功への勇氣」がベストセラーになりました。

人生は今日が始まり 昨日まではリハーサル 今日から本番

『成功とは、次々と目標を設定しながら懸命に働き続けること』

人を成功に導くものは、知識や努力ではなく良き生活習慣である。勤勉のプロになる。資格など関係ない。



売り手地獄・買い手極楽の時代へ
人口減少社会の到来により、売り手中心の時代は終わり、買い手中心の時代が始まった。
サラリーマン根性→オーナー魂へ
年中無休、24時間受付サービス精神。

「**楽すれば 楽が邪魔して 楽ならず、
楽せぬ楽が はるか楽々**」

20世紀の人生=60年+余生(一生は一生)
21世紀の人生=60年+40年(一生は二生)
超長寿社会→2030年には平均寿命が100歳
人生100才生きるという前提で過ごす。
余生→終身現役 悠々自適・年金・退職金を消す。
生きがい 一生持てる仕事
定年後は、自立・自営・自助の人生を歩む。
得意機能の一つ持つ。
何も得意の無い人は、何でも気持ちよく「ハイ」と引き受けることが、得意機能になる。

知るとやるとは天地の差

躰三原則

- ①挨拶(明るく・いつも先に)
- ②返事(ハイ=拝)敬う気持ち
- ③後始末



終身現役

商売は良いお客様の数で決まる!

笑顔は最大の集客能力「商」は「笑」なり「勝」なり

弱者の戦略は一点集中!
地味にコツコツやり続けていけば強者に勝てる。
結果をすぐ求め派手にやるから上手くいかない諦める。
**桃栗3年、柿8年、汗と涙で13年、
それでも駄目なら20年、成就するまで諦めず。**

情熱は、毎朝ゼロから磨く。
早起き・笑顔・素直・感謝・出会いを大切にする。

勇気は機関車、自信は客車。勇気を出すために大きな声を出す。

コツ・コツ・コツ・コツ・コツ・コツ・コツ・コツ!